

「小さな親切」実行章

東京発

5月25日、都内で「小さな親切」実行章贈呈式を開催し、がん患者の支援活動などに取り組む、認定NPO法人「キャンサーネットジャパン(CNJ)」他、3団体を表彰しました。CNJでは、小児がん支援のシンボル「ゴールドリボンバッジ」を製作・販売し、収益金で小児がんの啓発や患者や家族らの支援活動に力を入れています。

また、放送作家の小山薫堂さん、音楽プロデューサーの松任谷正隆さんは、ラジオの特別番組を通じて、コロナ禍や相次ぐ自然災害などで苦境に立つ人々の状況を「伝える」ことでエールを送ったとして、それぞれが代表をつとめる「N35インターナショナル(株)」「旬雲母社」、番組制作会社「イー・イー・ユー(株)」を表彰。

贈呈式では、CNJ常務理事らによる小児がんについてのミニ講演も実



賞状を受け取るCNJ・岩瀬哲理事長



運動本部の特任推進委員・片亀歳晴さん(群馬県玉村町)は、自作の紙芝居を上演する活動を通じて、青少年の豊かな心の育成に貢献しているとして、昨年内閣官房長官賞を受賞。今年3月には、富岡市立高瀬小学校で、同校児童が書いた作文コンクール入賞作

子どもたちの豊かな心づくり 群馬発

参加した都内の会員企業や過去に実行章を受けた企業・団体の皆さんに、小児がんについての理解を深めてもらうなど、「伝える」支援と「知る」支援をつなぐ贈呈式となりました。



後日、写真を寄せてくださいました。右から、フリーアナウンサー 中井美穂さん(CNJ理事)、音楽プロデューサー 松任谷正隆さん(旬雲母社代表取締役)

お知らせ

来年、親切運動が創立60周年迎えるのを機に、あいさつ運動「みんなつながる、トモダチ作戦」の活動グッズをリニューアル。運動本部では、活動グッズを提供していますので、ぜひご活用ください。(申込方法などは、運動本部WEBサイトをご覧ください。)



■新代表就任

北海道本部代表 瀬尾英生
(北海道電力(株)取締役常務執行役員)
長野県本部代表 浅井隆彦
(八十二銀行取締役副頭取)

■寄附者(芳名)(敬称略・順不同)

東京都 辻 邦彦/福岡県 椋本正司
群馬県 片亀歳晴/青森県 似鳥初彦
新潟県 甲野勝機/千葉県 小さな親切さわやか会

■訃報

長年に亘り、本誌の専任ライターとして親切や思いやりの大切さを伝えてくださった新野雄彦さんが、5月に逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



応募フォーム



読者PRESENT

7頁で紹介した、風呂敷専門店「むす美」の風呂敷を4名様にプレゼントいたします。エコバッグなど、様々な用途にぜひご活用ください。

応募方法:氏名「住所」年齢「本誌の感想」をご記入の上、FAX (03)3263-3838 または応募フォームよりご応募ください。

締め切り:2022年9月9日(金)必着。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

創立60周年記念「未来へつながる心づくり寄附金」申込書

2022年 月 日

氏名 (ふりがな)	年齢	歳
団体・法人名	担当者名	
住所 〒		
連絡先 TEL	FAX	
E-mail		
寄附金額 円	振込先 みずほ銀行 九段支店 普通預金口座 1298186	
(振込予定日 月 日頃)	シャ) チイサナシンセツ ウンドウホンブ キフキンクチ 公益社団法人「小さな親切」運動本部寄附金口	
会員の有無 (☑印をつけてください) <input type="checkbox"/> 会員 (会員番号:)	<input type="checkbox"/> 非会員	

ご寄附いただいた皆様には、毎年2月発行の作品集(作文コンクール&はがきキャンペーン合併版)をご寄贈申し上げます。

【趣 旨】 令和5年に創立60周年を迎えるにあたり、「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をさらに目指し、みなさまの寄附金で運動の輪を広げてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

【募集期間】 令和4年4月1日～令和5年3月31日

【申込方法】

1 本申込書にご記入の上、
FAX: 03-3263-3838
へお送りください。

2 スマホやPCからも申し込みできます。

個人用



法人用



鹿児島発

品をもとにした自作の紙芝居を上演し、親切の大切さを伝えました。コロナ禍で行動が制限されがちな子どもたちに、周りの人への感謝、夢や希望を持つことを忘れてほしくないと言語の片亀さん。自作の紙芝居はすでに100作品を超えますが、新作づくりに意欲を燃やしています。



七夕飾りもったよ (鶴池保育園)



マジックに興味津々 (清水保育園)

鹿児島県本部(事務局・県社会福祉協議会)では今年も保育園での「七夕交流」を実施し、事務局職員手作りの七夕飾りを贈りました。また、幼いうちから思いやりの心を育んでもらいたいと、日常生活の基本となる「小さな親切」八か条を教えたほか、紙芝居の読み聞かせも行いました。中でも、役員によるマジック披露に、園児たちは大喜び。これからも、子どもたちと楽しく心の交流を続けていきます。

青森発

のぼりを立てて活動PR (青森銀行)



地域をきれいにします (板柳町立板柳東小)

日本列島クリーン大作戦 ※感染症対策を行なった上で、実施しています。大勢が集まるイベントの開催はまだ難しいものの、徐々に活動再開の動きが出てきました。

千葉発

青森県本部(事務局・青森銀行)では、イベント会場に大勢の参加者が集まり、一斉にスタートしていた清掃活動を、希望があった学校や団体へごみ袋を提供し、それぞれの実情に合った日程で実践してもらおう形に変更。今年も青森銀行でも月に1回、本店周辺を清掃することにし、第1回目は5月26日に開催。クリーン大作戦ののびりを立て、親切運動のPRにも努めています。

千葉県本部(事務局・千葉興業銀行)では5月29日、3年ぶりに活動を再開。まだ研修中で配属が決まっていな

ヤ(二)際